

1. 総括

新型コロナウイルス感染予防対策として、午前と午後の2部制にし、3密を回避した。集団での食事を避けて、昼休みは職員による消毒作業を行った。

下請け作業の目的を、「個別にできることを増やし、やりがいを思って通所するため」と決めた。個々のアセスメントを丁寧に行い、取り組めることが増えるように環境を工夫して整えた。作業時間は減ったが、支給する工賃が減らないように、下請けの作業量とパンの販売などの収益を確保してきた。

「KANUMAISM (カヌマイズム)」の活動を中心に行っている地域連携事業では、神社清掃などを通して、地域貢献を行い、商店街から表彰していただいた。「ペットのかじり木」など新たな自主製品を作ることができた。

e-スポーツチームを立ち上げ、全国の大会などに参加した。何度か優勝することができた、e-スポーツを通して、社会参加が難しかった方への支援の道筋も見えてきた。多様性を認め合い、ともに生きる地域づくりを目指して活動してきた。

2. 年間利用者数

(人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日収	21	22	22	21	22	21	21	20	20	20	20	23	253
1日平均 利用者数 (人)	19	19	19	20	20	21	20	21	19	19	20	19	19.7
延利用者数	396	423	419	415	435	435	429	426	394	389	401	444	5006

※主な欠席理由…体調不良・精神不安定・家事都合(通院など)

3. 担当職員

サービス管理責任者：宇賀神美菜子

生活支援員：大貫祐子、関口明日香、鈴木順子、伊藤志津、島中智也

職業指導員：小森敏江

目標工賃達成指導員：宇賀神由子

4. 就労支援事業

(1) 職業(作業)支援

①製菓製パン部門

売上目標額 300万円(実績 533万円)

成 果

- ・新商品開発（小さな食パン）
- ・売り上げ目標達成
- ・月曜日の納品も可能になった。

課 題

- ・焼き菓子の販路拡大

《下請け作業》

業者：中央パッケージ、sansan、 トップ、 ハッピースパイス、 マーサーズ
野尻商店、鹿沼市図書館、鹿沼市市民部人権推進課、月とスパイス、Oビル

成 果

- ・利用者さんの作業レベルを把握し、個々にあった指示を出し、モデリングやジグを使用し、できる作業を増やした。
- ・作業スピードが上がった。
- ・地域連携の仕事を創出できた。

課 題

- ・ペン作業の依頼が多く、職員が作業に追われる時があった。

④自主製品部門

《ペット部門》

- ・新たに、「ペットのかじり木」という商品を作ることができた。

(3) 収益事業の収支報告

- ・総売り上げ 7,162,160円（前年比 74%）
- ・工賃総支給額 4,671,880円（前年比 80%）
- ・支給人数 371人（前年比 95%）
- ・月額平均工賃 12,600円（前年比 84%）

〈月別工賃支給額〉

月	工賃支給額	支給人数	平均工賃
4	378,480円	30人	12,616円
5	412,190円	31人	13,296円
6	417,060円	31人	13,454円
7	392,140円	31人	12,650円
8	406,040円	29人	14,001円
9	420,820円	32人	13,151円
10	396,460円	31人	12,789円

11	399,020円	31人	12,872円
12	335,080円	30人	11,169円
1	352,130円	32人	11,004円
2	362,200円	32人	11,319円
3	402,990円	31人	13,000円
合計	4,674,610円	371人	12,600円

※今年度は、年度末手当なし

就労継続B型事業

1. 職員会議、支援会議

(1) 職員会議

- 毎月1回開催
運営会議、世話人会議、研修会等の報告（15分間）
職員研修（45分間）
4月：知的障害のない発達障害者の特性把握の方法（加藤深雪先生）
5月：従業員支援プログラム説明会（宇都宮東法律事務所）
6月：心理的安全性研修（加藤深雪先生）
8月：アサーション研修（加藤深雪先生）
9月：BWAP2の活用について研修（神戸）
10月：アンコンシャスバイアス研修（加藤深雪先生）

(2) 支援会議

- 支援会議：月1回開催
 - 支援計画検討・作成、モニタリング、ケース検討
- 【課題】
- 会議に参加できない非常勤職員がいる。
 - 個別支援計画研修

(3) 総括・事業計画会議

- 令和4年度事業総括会議
1月9日（月）
- 令和5年度事業計画作成会議
2月11日（土）

2. 職員研修

- サービス管理責任者基礎研修（大類）
- 虐待防止と権利擁護研修（全職員）
- 経営基礎講座（宇賀神美）

- ・経営指針策定講座（宇賀神美）
- ・強度行動障害支援者養成講座・実践（神戸）
- ・労働局転倒災害防止研修（宇賀神）
- ・日本財団ダイバーシティ就労実践研修（宇賀神美）
- ・中小企業家同友会例会（神戸・宇賀神美）

3. 安全・安心

（1）防災管理

- ・消火、通報、避難誘導の訓練を年2回実施
- ・消防設備の定期点検を年2回実施（委託業者：（株）メディア・システム）

課題

- ・喫煙所の環境整備

（2）危機管理

- ・事故・ヒヤリハット報告 8件
- ・報告書については、回覧し終礼で共有した。
- ・再発防止についての対策について職員間で話し合い、共有した。

（3）苦情解決・虐待防止

- ・今年度の苦情は0件

成果

- ・虐待に対する申し出はなかった。
- ・虐待に関する全職員研修を実施した。
- ・利用者さんへの満足度調査を実施した。

4. 送迎サービスの実施

- ・市内循環2コース運行（朝・昼）

5. 余暇活動

- ・音楽鑑賞会（10月）
- ・映画鑑賞会・じゃんけん大会（12月）
- ・成人を祝う会（1月）

【課題】

- ・回数が少なかったため、ワークショップなどが開催できると良い。

6. 生活支援

健康管理

- ・コロナウィルス感染対策お便り配布、抗原検査キッド配布
- ・通所時の検温、手洗い、アルコール消毒
- ・年1回の健康診断、診断結果と歯の健康資料、栄養指導資料を配布
- ・インフルエンザ予防接種の実施（奥山医院：ダック）

- 昼休憩時と作業終了時、作業場の消毒
- 1時間に1回の換気

相談援助

- 精神的不安を抱えている方への相談をうけた。臨機応変に対応した。
- 複数の職員で対応したほうが良い場合や時間を多く取った方が良い人は予約をしてもらって対応した。
- 相談支援員さんと連携し、家族支援を行った。

7. 環境整備

- 二荒山神社一の鳥居の清掃
- 駐車場の清掃
- 作業室の収納整備

8. 地域・関係機関との連携

(1) 認定NPO法人取得を目指す。

- ホームページの更新・管理
- SNSの管理
- 認定NPO法人委員会の定期開催
- CCVだよりの発行（年3回）
- 正会員、賛助会員の名簿管理
- 新聞掲載

【課題】

- ホームページの更新ができていない
- 賛助会員数があまり増えていない
- 会員名簿と新規か継続の把握と会費の管理

(2) 実習生の受け入れ

- 基本情報の確認後、支援計画作成後受け入れ実施
- 外部機関も交えての事前面接

(3) 地域連携

- KANUMAISMのお仕事は引き続き継続できた。新たに、野州麻を使った「ペットのかじり木」の仕事を追加することができた。
- 大関種苗園さんやフリースタイルさんで実習を受け入れていただいた。
- 二荒神社一の鳥居の清掃を継続した。